



# 東北大学 オープンイノベーション戦略機構

Head Office for Open Innovation Strategy  
Tohoku University





## 総長挨拶

東北大學總長 大野 英男

*Hideo Ohno*

東北大學は、1907年の建学以来、「研究第一主義」の伝統、「門戸開放」の理念、及び「実学尊重」の精神のもと、多くの指導的人材を輩出するとともに、世界的に卓越した研究成果をもって人類の知の地平を拡大し、さらには未来社会へ向けた変革・イノベーションを先導してきました。これまでの歴史と経験を踏まえ、社会とともにある大学というアイデンティティのもと、産学連携機能を抜本的に強化して、数多くの本学独自の戦略的産学共創を展開しております。その一つとして、2018年12月に「オープンイノベーション戦略機構」を創設しました。本機構は総長直下の独立した組織として設置し、全学的な決定権を有するプロボストを機構長に配置することで、機動的なトップセールスを実現しております。本機構の設置を契機に、本学は今後も新たな社会価値の創造を通して未来を拓く変革を先導することを目指してまいります。

## オープンイノベーション戦略機構

01 オープンイノベーション戦略機構の役割

02 オープンイノベーション戦略機構の特長

03 専門家集団によるハンズオン型マネジメント

04 企業と大学をつなぐリエゾン

## 機構長挨拶

オープンイノベーション戦略機構長、  
東北大学理事・副学長(企画戦略総括、プロボスト)

青木 孝文

*Takafumi Aoki*

「オープンイノベーション戦略機構」は、東北大学が独自に培ってきたB-U-B(Business-University-Business)連携モデル(大学をプラットフォームとして複数企業が参画するイノベーションエコシステム形成型連携モデル)に基づくオープンイノベーションを戦略的に展開いたします。統括クリエイティブ・マネージャーをはじめスタッフには民間出身のプロフェッショナル人材を採用し、企業の製品化戦略に深く関わる事業性の高いプロジェクトを戦略的に企画・推進することを可能にしております。本機構を中心に、東北大学流のオープンイノベーションを戦略的に展開するべく、本学が強みとする「ライフサイエンス」と「マテリアルサイエンス」の領域から活動を開始し、今後「ICT」や「放射光活用」等の新規領域に展開していく計画です。社会的にインパクトの大きいイノベーションの創出を目指してまいりますので、産業界をはじめとした皆様のご参画をお待ちしております。



# 01 オープンイノベーション戦略機構の役割

シーズを持つ／創るビジネスプレイヤーと、サービスを実践するビジネスプレイヤーに加え、行政や利用者も参加する大型連携で、社会イノベーションを産み出します。



ライフサイエンス領域マテリアルサイエンス領域から開始し、データサイエンス領域を追加しました。  
今後さらに新しい領域、横断領域へイノベーション活動を拡大します。

## 企業と大学の 「組織」対「組織」の 大型連携を創出



- 企業経営層と本学の間でビジョンを共有・共創
- 総長直下の組織ならではの大局的かつ迅速な意思決定
- オール東北大で、本学のアセットを横断的に活用

## 経験豊富な 専門家集団による ハンズオン機能



- 企業の事業戦略を踏まえた時間軸の設定とプランニング
- ビジネスの目線で、マイルストンを明確にしたプロジェクトマネジメント
- プロダクトアウトではなく、設定ゴールからのバックキャストに基づくR&Dと知財戦略

## イノベーションを通じた 社会貢献

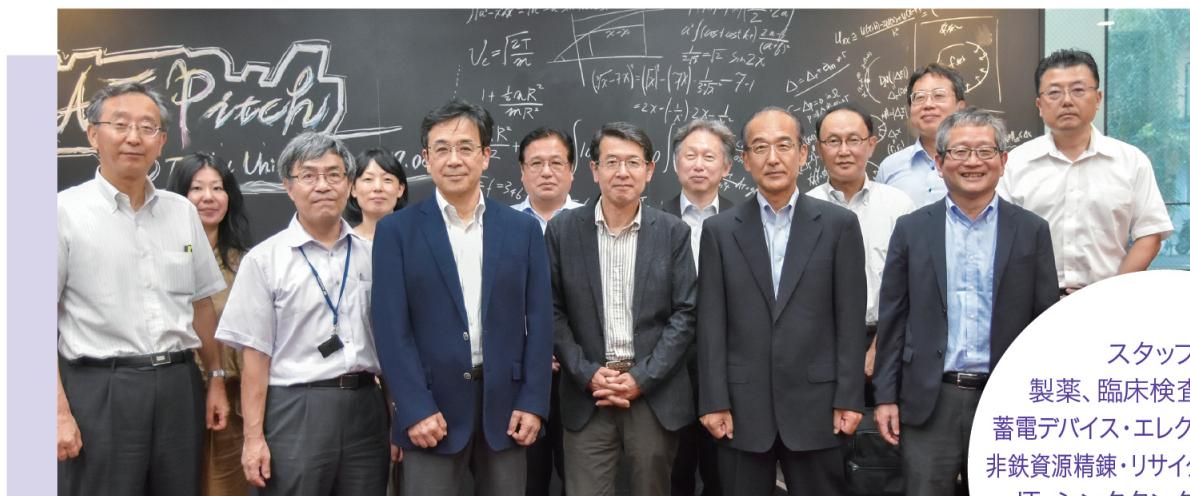
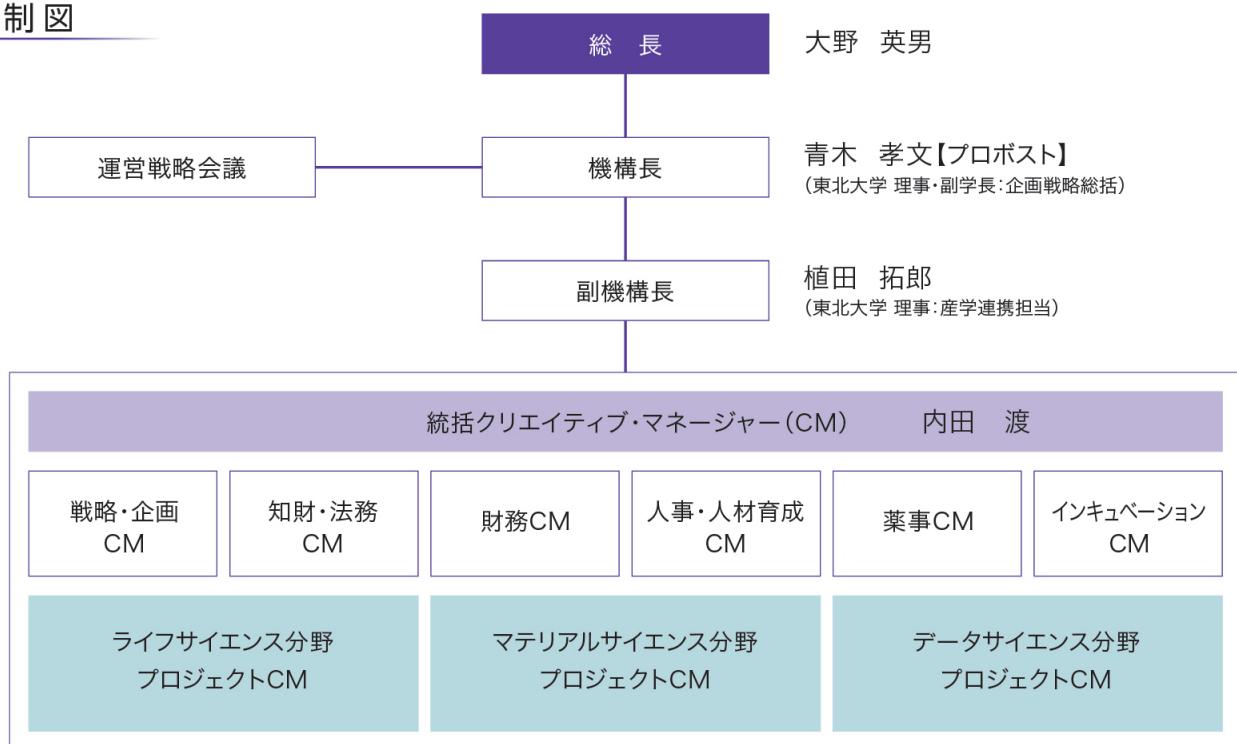


- 新たなバリューチェーンの創出に向けたB-U-B連携※によるエコシステムを構築
- ベンチャーとの連携や起業も含めた成果の社会実装の推進と加速化
- ビジネスやR&Dの現場でイノベーションリーダーとなる人材を育成

※B-U-B(Business-University-Business)連携:本学を代表する集積エレクトロニクス技術のオープンイノベーション拠点である「国際集積エレクトロニクス研究開発センター(CIES)」が提唱した「大学をプラットフォームとして複数企業が参画するイノベーションエコシステム形成型連携モデル」

- プロボストを機構長とする総長直下の独立した組織で  
オープンイノベーション活動に関する迅速な意思決定と、全学一丸の体制を実現
- 各領域の専門家集団が豊富なビジネス経験に基づき  
各企業の経営戦略に合致した共創活動をプランニング
- 学内の产学研連携部門と有機的に連携して全学で产学研共創をバックアップ

### 体制図



スタッフは、  
製薬、臨床検査、PMDA、  
蓄電デバイス・エレクトロニクス素材、  
非鉄資源精錬・リサイクル・電子機能材、  
IT、シンクタンクの各業界の  
専門家集団で、ハンズオンで  
支援を行います

## フェーズ 1



### 企業の事業戦略に合致した 共創活動をプランニング

- 企業ニーズと大学のアセット情報を収集・マッチング
- ビジョンの共有
- 事業戦略に即した共創活動のプランニング

## 専門家集団による プロジェクトマネジメント

- プロジェクトのマイルストン・ゴールの設定と管理
- プロジェクトの価値を最大化する知財戦略の提案
- プロジェクトのリスク管理

## フェーズ 2

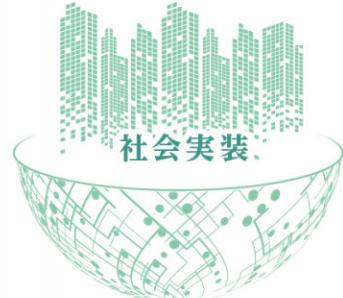
プロジェクトマネジメント  
マイルストン・ゴール設定と管理  
知財戦略提案  
リスク管理

## 共創活動の社会実装を支援

- 新規事業創出に向けた出口戦略策定の支援
- 行政組織、VC等起業を支援するプログラム・組織等の紹介
- 社会実装のための産官学連携

実施体制  
づくり  
産官学  
連携

支援



出口戦略  
策定

## 04 企業と大学をつなぐリエゾン

### 様々な交流の場を用意し、多様性のあるマッチングと創発の場を提供

- 東北大の先端的な研究開発やアセットの情報を学外パートナーに提供
- 企業やベンチャーキャピタルなど学外パートナーの活動を学内に紹介
- 学外パートナーと学内、ならびに学外パートナー同士のマッチングの場を提供

**東北大 Networking Evening**  
創発のための企業と大学の交流の場として、学内情報を定期的に東京日本橋で発信しています。

**東北大 Networking Evening**

モード学ではオープンイノベーション戦略構築の効果を發揮し、創発ための企業と大学の交流を図り、東北大 Networking Eveningを開催して参ります。東北大からのプレゼンテーション後に、フレーズカクションの時間を持ち、英語による意見交換を行います。また、会場には白紙面で意見を書き下す時間を設けています。

**東北大**

東北大 Networking Evening

企業

**東北大オープンイノベーション促進セミナー(意見交換会)**

ビジネス化を目指す研究者のための、事業立案・知財・人材戦略における課題と解決策

東北大オープンイノベーション戦略構築は事業戦略に深く関わる大型の共同研究を専門的な人材による集中管理体制下で戦略的に立案及び推進することにより、社会的イノベーションの創出を図り、もって大学全員として社会貢献を実現することを目的として創設された新たな組織です。

本機構の活動のひとつとして、学外ニーズ・技術・動向の紹介を戦略的に企画し、学内外の双方方向情報交換による創発機会を提供がります。

第3回として、上記の創出機会を設けられました。

Biotech/Healthcare領域において研究シーズのビジネス化を目指す研究者がよく直面する課題について、これまでの実績例やチャレンジの投資・支援の実績から解決策の提起をします。

オープンな意見交換会ですので、本学内の教職員・学生の皆さま、また学外者のご参加をお待ちしております（学内者は当日参加可）。

2019年8月6日(火)

### アウトリーチ活動拠点として東京オフィスを創設

- 東京オフィスを活動拠点とした情報発信・アンテナ機能
- 学内外にオープンイノベーション活動を浸透させると共に 双方向の情報交換による創発の機会を提供
- アクセスが容易な東京オフィスで共創活動の相談



# ACCESS アクセス



## 東北大学オープンイノベーション戦略機構

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1 医学部5号館5階 <星陵キャンパス>

## 東北大学オープンイノベーション戦略機構 東京オフィス

〒103-0022  
東京都中央区日本橋室町3-2-1  
日本橋室町三井タワー7階  
GLOBAL LIFESCIENCE HUB office 1



お問い合わせ



東北大学  
オープンイノベーション戦略機構

E-mail: [oi-inquiry@grp.tohoku.ac.jp](mailto:oi-inquiry@grp.tohoku.ac.jp)

TEL: 022-718-0350(仙台)

<http://oi.tohoku.ac.jp/>

